



ミニ・ディスクロージャー誌
平成28年3月期 営業の中間ご報告

2015



Contents

- 1 千葉銀行のプロフィール
- 2 ちばぎんグループのご紹介
- 3 頭取メッセージ
- 6 第12次中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」
- 7 特集 地方創生に向けた取組み
- 9 NEWS 新商品のご紹介
- 11 NEWS 店舗新設・移転のご案内、新設部署のご紹介
- 12 TSUBASA(翼)プロジェクトでの連携
- 13 ちばぎんグループのCSR
- 15 平成27年9月期 業績のご報告
- 17 金融円滑化に向けた取組み
- 18 株式の状況
- 19 中間連結財務諸表(要約版)
- 21 中間単体財務諸表(要約版)

裏表紙 ちばぎんネットワーク

千葉銀行のプロフィール(平成27年9月30日現在)

設	立	昭和18年3月
拠	点	国内 179店舗(本支店157、特別出張所5、出張所14、仮想店舗3) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 44,513か所 (うちコンビニATM「E-net」13,236か所、セブン銀行との提携による 共同ATM 20,050か所、ローソンとの提携によるATM 10,957か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 3駐在員事務所(上海、シンガポール、バンコク)

従業員数	4,404人
総資産	13兆4,318億円
預金	10兆6,695億円
貸出金	8兆6,430億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結13.89% 単体13.19%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

ちばぎんグループのご紹介

ちばぎんグループは、当行のほか子会社13社で構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しています。

会社名	主な業務内容	従業員数
株式会社総武	千葉銀行の店舗・厚生施設の賃貸・保守・管理や、調度品・消耗品等の調達・販売を行っています。	14名
ちばぎんキャリアサービス株式会社	千葉銀行や地元企業等への人材派遣・職業紹介の他、企業の給与・経理業務の事務代行を行っています。	18名
ちば債権回収株式会社	債権の管理・回収業務を行っています。	23名
ちばぎんハートフル株式会社	名刺・ゴム印の作成やダイレクトメール等の封入・発送業務の他、千葉銀行の事務代行業務を行っています。	39名
ちばぎん証券株式会社	株式・債券・投資信託などの金融商品を取り扱う証券業務を行っています。	257名
ちばぎん保証株式会社	住宅ローン・カードローン等の保証業務の他、売上代金・各種料金・会費等を回収する集金代行業務を行っています。	41名
ちばぎんジェーシーピーカード株式会社	JCBブランドのカード業務や信用保証業務の他、ギフトカードの販売等を行っています。	51名
ちばぎんディーシーカード株式会社	DCブランドのカード業務や信用保証業務等を行っています。	30名
ちばぎんリース株式会社	OA機器・車・産業機械・店舗機器・医療機器・リサイクル機器等のリース業務を行っています。	50名
ちばぎんコンピューターサービス株式会社	ソフトウェア開発やコンピュータ機器販売、情報処理・サーバ運用などの業務代行等を行っています。	222名
ちばぎんキャピタル株式会社	投資事業組合（ファンド）の運営・管理業務やM&Aのアドバイザリー業務、株式上場を目指す企業の新株引受け等を行っています。	11名
ちばぎんアセットマネジメント株式会社	投資信託の組成・提供や、豊富な経験と専門的知見に基づいた投資助言等を行っています。	21名
株式会社ちばぎん総合研究所	経営コンサルティングや各種調査受託・研究、ビジネスマッチング業務等を行っています。	41名

(平成27年9月30日現在)

グループの力を結集し、 「地方創生」の実現に貢献

取締役頭取

佐久間 英利

中期経営計画の 一部変更について

中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」は、計画期間の折返し点を経過しましたが、この間、主要課題に対する取組みは着実に進み、計数目標についても想定を上回るペースで進捗しています。主要地盤である千葉県では、人口増加が続いているほか、成田空港LCC専用ターミナルの新設や圏央道の延伸など主要インフラの整備が着実に進んでいます。

日本経済は回復基調を維持しておりますが、今後は、米国の利上げや中国を始めとする新興国経済の減速等により景気が下押しされるリスクも注視しつつ、金融仲介機能をさらに発揮し、地域経済の活性化に寄与してまいります。

これに加え、「地方創生」が成長戦略の柱として掲げられたことや、女性活躍推進法成立などの社会環境が変化していることに対しても、地域金融機関として積極的に取り組んでいく必要があります。

こうした諸情勢を踏まえ、今後の計画期間の中で取り組むべき3つの主要課題の中身を見直すとともに、計数目標についても一部上方修正することといたしました。

主要課題の1つに掲げた「新たな企業価値の創造」では、事業性評価に基づく融資や本業支援等によって取引先企業の成長を後押ししていくことや、経営者の事業承継をサポートしていくことにより、「地方創生」の実現に貢献してまいります。また、「フィンテック」と呼ばれるITを活用した金融サービスを



取り入れていくことで、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

主要課題の2つ目「人材育成の一層の充実」では、女性の活躍の場を広げる取組みなど、重要な経営戦略と位置付けているダイバーシティの推進をさらに加速させてまいります。

主要課題の3つ目「持続可能な経営態勢の構築」では、次世代を見据えて営業店ワークフローを見直すことで業務の生産性を向上させていくとともに、サイバーセキュリティへの対応などお客さまの安心・安全のための取組みを着実に進めてまいります。

期比3,507億円増加の8兆5,847億円、預金平残は前年同期比5,641億円増加の10兆7,152億円と、貸出金・預金とも順調に増加しました。

損益については、当中間期の連結経常利益は前年同期比38億円増加の486億円と、中間期としては過去最高益になりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比22億円減少の326億円となりましたが、前年同期に計上した「負ののれん発生益」等の影響を除くと前年同期比47億円の増益となり、中間期としては過去最高益となります。また、連結総自己資本比率は13.89%と、引き続き高い水準を維持しています。

27年9月期の業績について

当中間期は、貸出金平残は前年同

「地方創生」の 実現に向けて

「地方創生」の実現に向けた取組みでは、8月に「地方創生・地域活性化委員会」と、その下部組織となる「地方創生部会」「事業性評価部会」を設置し、ちばぎん総合研究所などグループ一体で活動を強化していく態勢としています。

さらに、千葉県及び県内54市町村のうち47の自治体の推進組織に委員として参画し、各自治体の「地方版総合戦略」の策定を支援したほか、「千葉県創生戦略プラン」と題したレポートを公表し、自治体関係者向けに「地方創生セミナー」を開催しました。また、千葉市のプレミアム商品券においては、全国初となる「ちばぎんスーパーカード<デビット>」を活用したスキームを提供しました。

このほか、地域の産業を担う中小企業の成長を後押ししていくため、事業性評価に基づく融資に加え、販路拡大や海外進出に向けた各種ビジネスマッチング商談会などの本業支援にも積極的に取り組んでいます。

今後千葉銀行が 目指すもの

中期経営計画において、2020年に目指す当行の姿として、先進性のあるサービスで地域のお客さまに最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループを掲げています。

グループ役職員が一丸となり、今後も、お客さま、株主の皆さま、地域社会など全ての方々のご期待にお応えできるよう最大限の努力を尽くしてまいります。一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



ベストバンク2020

価値創造の3年

2014.4.1～2017.3.31

「お客さま第一主義」により最高の価値を提供するとともに、
攻めの営業を徹底し、「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

2015年度下期より、中期経営計画開始以降の環境変化や計数目標に対する進捗状況を踏まえ、
新たに取り組むべき課題を追加するとともに、計数目標を上方修正しました。

「価値創造の3年」で取り組む課題

新たな 企業価値の創造

- 「地方創生」の実現に向け、お客さまの事業の成長や経営課題の解決をサポートします。
- フィンテックの活用やチャネル・店舗ネットワークの充実により、お客さまの利便性を高めます。

人材育成の 一層の充実

- 高い専門性を持つ人材を育成します。
- 女性の活躍支援など、ダイバーシティを一層推進します。

持続可能な 経営態勢の構築

- 持続的な成長に向け、業務の生産性向上を図ります。
- リスク管理態勢やコンプライアンスを強化します。

「価値創造の3年」で到達すべき目標

親会社株主に帰属する当期純利益
500→570億円

連結ROE
6%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
9兆円程度

預金残高
11兆円程度

グループ預かり資産残高
2兆4千億円程度

2020年(6年後)に目指す姿

親会社株主に帰属する当期純利益
600→650億円

連結ROE
7%程度→7%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
10兆円程度

預金残高
12兆円程度

グループ預かり資産残高
3兆円程度

中期経営計画計数項目の進捗状況

(単位：億円)

目標とする指標	2014/3 【実績】	2015/3 【実績】	2015/9 【実績】	2014/3比		2017/3 【計画】	2020/3 【計画】
				進捗率	進捗率		
親会社株主に帰属する当期純利益	464	570	326	—	—	570	650
連結ROE	6.27%	7.07%	7.58%	—	—	6%台	7%台
連結普通株式等Tier1比率	12.85%	13.17%	12.59%	—	—	13%台	13%台
貸出金残高	80,830	84,611	86,430	+5,600	61.1%	90,000	100,000
預金残高	101,218	107,333	106,695	+5,476	62.4%	110,000	120,000
グループ預かり資産残高	19,662	20,968	20,086	+424	9.8%	24,000	30,000

特集 地方創生に向けた取組み

当行は、地域のトップバンクとしてグループをあげて「地方創生」への取組みに積極的に参画してまいります。

組織

「地方創生・地域活性化委員会」の設置(平成27年8月)

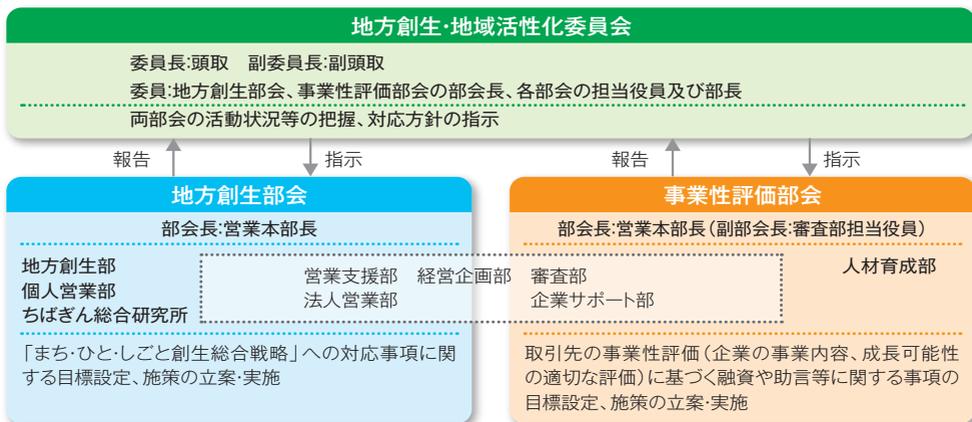
頭取を委員長とし、「地方創生部会」「事業性評価部会」の2つの下部組織を置き、諸施策の実効性向上を図っています。

両部会はそれぞれ、自治体が策定する「地方版総合戦略」への対応、取引先の事業性評価に基づく融資や助言等について目標設定・施策立案を行い、その実施状況等を定期的に同委員会に報告する体制としています。

組織

「地方創生部」の設置(平成27年10月)

各自治体において「地方版総合戦略」の策定や諸施策の実施が本格化していくことを踏まえ、同部が中心となって、官民協働施策や他業態との連携強化など地方創生の実現に向けた取組みを積極的に推進してまいります。



レポート

「千葉県創生」戦略プランの公表(平成27年8月)

ちばぎん総合研究所が、各種統計データや住民アンケートを基に県内54市町村全ての地域特性を数値化し、自治体毎の現状や課題、地方創生のあり方などについての提言をまとめたレポートを作成・公表いたしました。

「地方創生セミナー」(平成27年8月)、「地方創生ICTカンファレンス2015 in 幕張」の開催(平成27年10月)

これまでおもに自治体の関係者を対象とした地方創生関連のセミナーを2度開催し、情報提供や参加者間の交流の場を提供しています。

この他、産業振興、地域活性化の観点から各種事業者向けのセミナーも随時実施しています。



地方創生セミナー



地方創生ICTカンファレンス2015 in 幕張

観光用レンタサイクルの贈呈

平成27年11月、千葉県の森田知事が会長を務める「ちばプロモーション協議会」に観光用レンタサイクル65台を贈呈しました。千葉県の観光振興の一助となることを願い、今後5年間で300台を目安に贈呈する予定です。



地域経済活性化に関する連携協定の締結

地元自治体や各種機関と地域経済活性化に向けた連携を進めています。

26年12月	南房総市
27年2月	館山市、鴨川市、鋸南町
27年4月	株式会社地域経済活性化支援機構
27年7月	勝浦市、いすみ市、銚子市、茂原市・茂原商工会議所

27年8月	旭市、富津市
27年9月	千葉県商工会連合会、柏市、白井市、千葉県税理士会
27年10月	木更津工業高等専門学校

※これまでに、千葉市、君津市とも締結しています。

Topics

地方創生に関連したローン商品の取扱いを開始!

平成27年10月より新たに、自治体の「住宅関連助成制度」に対応した、住宅ローン「ちばぎん移住・定住促進プラン」、目的別ローン「空き家対策支援ローン」の2商品の取扱いを始めました。

東京営業部のマルチビジョンで自治体のPRビデオを放映!

当行の東京営業部(東京都中央区日本橋室町)1階に設置している大型マルチビジョンにて、随時、地元自治体の風土や観光スポットなどを紹介するPRビデオを放映しています。

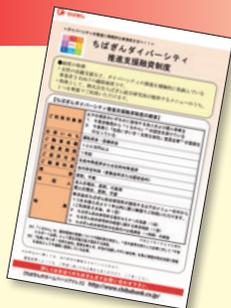


法人・個人事業主のお客さま向け

ちばぎんダイバーシティ推進支援融資制度

ダイバーシティの推進に積極的な事業者を応援する融資制度です。

千葉労働局から「くるみん」の認定を受けている、または、千葉県が推進する「社員いきいき! 元気な会社」宣言企業が対象となります。



ちばぎん総合研究所が提供する以下のメニューから1つを無償でご利用いただけます。

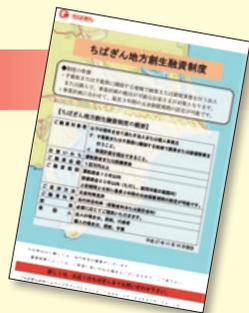
- ①主催セミナーの受講(1回)
- ②経営に関する簡易相談(1回)
- ③従業員向け出張講座(1時間)

地方創生関連

ちばぎん地方創生融資制度

千葉県または千葉県に隣接する地域で創業や新規事業を行う事業者向けの融資制度です。

お客さまから提出していただく事業計画に基づき、当行が事業の成長性や計画の妥当性などの事業性評価を行います。



- ①最長で3年間の元金返済据置期間を設定することができます。
- ②据置期間を除き、運転資金は最長10年、設備資金は最長20年まで借入ができます。
- ③融資実行後も事業計画の進捗確認等のハンズオン支援を行います。

各融資制度の詳細は、店頭またはちばぎんのホームページでご確認ください。

個人のお客さま向け

ちばぎん結婚・子育て資金贈与専用口座

「結婚・子育て資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置」に対応した預金商品です。

祖父母等が孫等の結婚・子育て資金に充てるために本口座に預入れすると、実際にその目的のために支払われた場合、最大1,000万円まで贈与税が非課税となります。



- ①孫等(受贈者)ひとりあたり1,000万円まで預入れができます。
- ②結婚・子育ての資金に支払われた場合、最大1,000万円までが非課税となります。
※結婚資金に関する支払いは、最大300万円までが非課税となります。
- ③手数料は無料です。

地方創生関連

住宅ローン「ちばぎん移住・定住促進プラン」

お客さまが自治体の移住・定住に係る助成制度を利用し、千葉県内で居住用住宅の取得、住み替え、増改築、改修を行う際に、住宅ローンを特別金利でご提供します。



地方創生関連

目的別ローン「空き家対策支援ローン」

所有する空き家の解体、リフォーム等を行うお客さまにローンを特別金利でご提供、お客さまが自治体の空き家対策に係る助成制度を利用される場合にはさらに金利を割引します。

各商品の詳細は、店頭またはちばぎんのホームページでご確認ください。

Topics

ちばぎんアセットマネジメント第1号公募投資信託商品の取扱いを開始!

同社初の公募投資信託「ちばぎんコア投資ファンド(愛称:ちばぎんラップ・ファンド)」は、お客さまの運用目的・リスク許容度に応じて「安定型」または「成長型」が選べます。

店舗新設・移転のご案内



恵比寿法人営業所
(平成27年10月)

都内13拠点目となる「恵比寿法人営業所」を開設しました。周辺エリアの法人向け貸出業務が中心となります。

※窓口、ATMの設置はございません。



松ヶ丘支店
(平成27年8月)

近接地に建替えし、移転オープンしました。11月には、大宮台支店(千葉市若葉区)が店舗内店舗として移転しました。



新設部署のご紹介

地方創生部(平成27年10月)

地方創生の一翼を担う金融機関が果たす役割は、創業支援から地域の中核企業への支援、まちづくり、雇用創出、医療・介護、結婚・子育てなど多岐に渡っています。これら地方創生に関する企画・統括、そして官民協働の推進などに取組んでいきます。



信託コンサルティング部(平成27年10月)

当行は、銀行本体で信託免許を持つ数少ない金融機関です。「信託機能の担い手」として、遺言信託、遺産整理業務のサービスをメインに、お客さまの資産をお守りして次世代へスムーズに承継していくお手伝いをしていきます。



フィンテック事業化推進室(平成27年11月)

近年注目を集める「フィンテック(革新的な金融IT技術)」を活用した新たなビジネスモデルを企画し、異業種との連携を進めるなかでお客さまにより便利で新しい金融サービスを提供していきます。

TSUBASA(翼)プロジェクト での連携

銀行システムの共同化を目指して集まった地方銀行7行は、いまでは人材交流や商品の共同開発、災害時の相互協力など幅広い分野で連携を進めています。

加盟行

千葉銀行(千葉県)・^{だいし}第四銀行(新潟県)・中国銀行(岡山県)・伊予銀行(愛媛県)・東邦銀行(福島県)・北國銀行(石川県)の6行に、今年8月、北洋銀行(北海道)が加わりました。



これまでの歩み

24年10月 千葉・第四・中国の3行が
基幹系システム共同化の基本合意

計画通りに
進んでいます!

26年 4月 「災害時相互協力協定」を締結

被災した銀行に
物資の援助や人員の
派遣を行います!

26年 9月 「市場・国際業務の
連携強化に関する協定」を締結

これまでに
人材交流や商品の共同開発、
セミナーの共催等を行
いました!

27年 5月 個人のお客さま向け夏の
キャンペーンでの連携企画を発表

地元以外の地域で
使える旅行券を抽選で
プレゼント!

27年 7月 「知財活用ビジネス支援の連携事業」を開始

事業者の
ビジネスマッチングの機会が
大きく広がります!

27年11月 株主優待制度での
優待品連携企画を発表

地元以外の特産・
名産品まで選べます!



金融教育への取組み

ちばぎんを
もっと身近に!

職場体験学習

当行本支店では、毎年、地元の小・中・高校生を対象とした職場体験の受入れを行っています。

金融の仕組みや銀行の役割についての説明や、バックヤード見学、ビジネスマナー体験などをつうじて、子どもたちにお金の大切さや将来の夢などを考えるきっかけづくりをしています。



千葉大学寄付講座

平成19年より、野村証券千葉支店と合同で千葉大学での寄付講座を開講しています。

当行職員が教壇に立ち、大学生を相手に様々なテーマで金融の実務に関する講義を行っています。

身近な話題とわかりやすい講義が評判で、およそ400名の学生が受講する人気講座となっています。



民間企業研修

年間をつうじて教員や自治体の職員、異業種企業など様々な職種の方の研修の受入れを行っています。

研修では、銀行業務のほか、地域金融機関として当行が行っている地域社会への取組みにも触れ、「等身大のちばぎん」を知っていただくためのよい機会となっています。



地域を
もっと元気に!

社会貢献活動

地元敬老会でのボランティア演奏

今年9月、グループ役職員有志によるジャズバンド「ちばぎんライトミュージック」が地元の敬老会慶祝行事にて生演奏を披露しました。

演奏会はたいへん盛り上がり、敬老会の方からはたくさんの感謝の言葉をいただきました。



ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

Vネットクラブ

当行には役職員・OBで構成するボランティア組織「Vネットクラブ」があり、地域の環境保全のため、県内各地で美化活動に取り組んでいます。

今年は、「九十九里浜クリーンウォーク」と名付けた海岸の清掃活動、「ちばぎんの森」での植樹、下草刈りといった森林整備活動などに取り組みました。



ちばぎんひまわりコンサート

『音楽をつうじて地域のお客さまと触れ合う』ことを目的に、平成元年に本店ロビーで初めて開催され、今年9月の公演で節目の50回を迎えました。

当日は、日本を代表するジャズ・ヴォーカリストの伊藤君子さんによるスペシャルステージが行われ、たくさんのお客さまに楽しんでいただきました。



世のため!
人のため!

助成金交付事業

ちばぎんハートフル福祉基金

平成22年より、県内で障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉などの社会福祉活動を行う社会福祉法人やボランティア団体などに対し、当基金をつうじて助成を行っています。

今年は、13団体に約8百万円の助成金を交付し、これまでの交付先は累計で76先、交付総額は41百万円となりました。



ちばぎん研究開発助成制度

当行創立70周年を記念してスタートしたこの制度は、技術・商品開発ニーズのある企業と地元の千葉大学・千葉工業大学との共同研究に対し、研究費用の一部を助成しています。

これまでの交付先は累計で21先、交付総額は23百万円となっています。



平成27年9月中間期は、連結経常利益が前年同期比38億円増加の486億円、親会社株主に帰属する中間純利益が前年同期比22億円減少の326億円となりました。

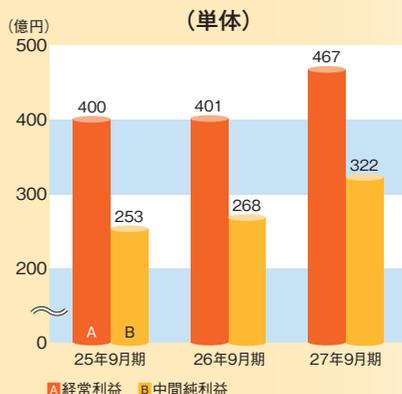
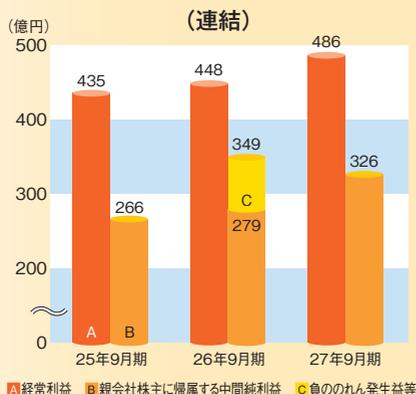
なお、前年同期に計上した負のれん発生益等の影響を除いた場合、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比47億円増加し、過去最高益となりました。

また、総自己資本比率は、連結で13.89%、単体で13.19%となりました。

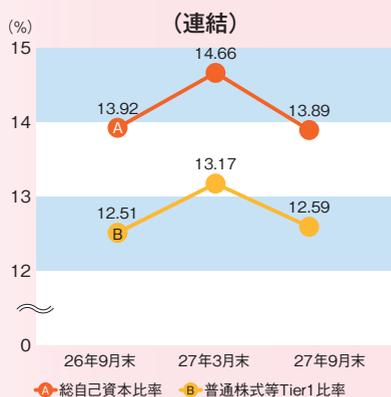
貸出金は、前期末比1,818億円増加の8兆6,430億円となりました。事業者向け貸出が前期末比933億円増加、住宅ローンが前期末比593億円増加しました。

預金は、個人預金が前期末比871億円増加しましたが、公共預金が前期末比1,993億円減少したことなどから、前期末比638億円減少し10兆6,695億円となりました。

損益の状況



自己資本比率 (パーセルⅢ) の状況



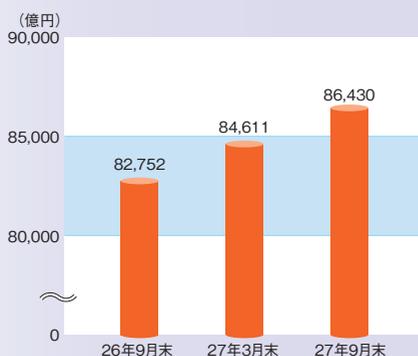
バーゼルⅢ

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合以上持つように義務づけています。

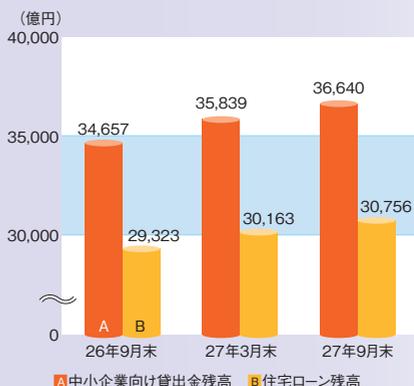
普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルⅢでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められました。

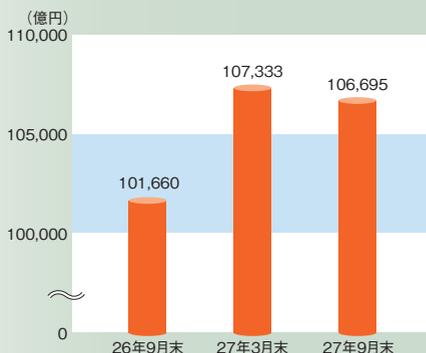
貸出金の状況



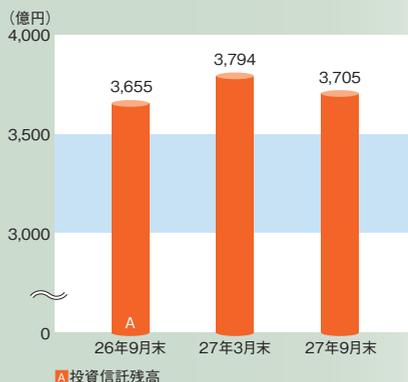
中小企業向け貸出金・住宅ローンの状況



預金の状況



投資型金融商品の状況

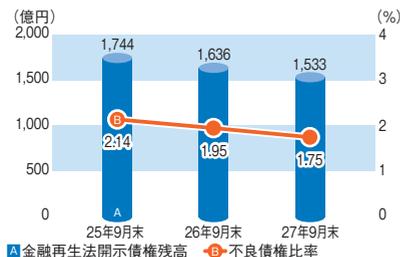


当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、お客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、引き続き「お客さま第一主義」を徹底し、新規のお借入れやお借入れ条件の変更等のご相談に真摯に対応していくとともに、お客さまのニーズに応じた積極的なソリューションの提供により、地域における金融円滑化への取組みを一層強化してまいります。

金融再生法開示債権の状況

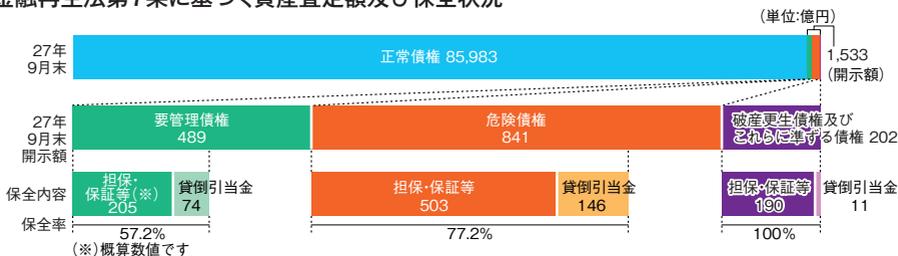
不良債権の推移



平成27年9月末時点の金融再生法開示債権残高は、1,533億円となりました。また、不良債権比率は1.75%となっています。

引続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会などの外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

株式の所有者別状況

平成27年9月30日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)
政府・地方公共団体	2	9	0.00
金融機関	98	359,633	41.27
金融商品取引業者	36	14,464	1.66
その他の法人	1,128	122,386	14.05
外国法人等	516	226,284	25.97
個人その他	20,856	148,575	17.05
計	22,636	871,351	100.00

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は4,170,087株となっております。
 2. 自己株式49,597,014株は「個人その他」に49,597単元、単元未満株式に14株含まれております。なお、自己株式49,597,014株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は49,596,014株です。
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

平成27年9月30日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式 数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,214	4.13
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,414	4.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,482	3.82
日本生命保険相互会社	26,870	3.06
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	26,537	3.03
第一生命保険株式会社	26,230	2.99
明治安田生命保険相互会社	18,291	2.08
住友生命保険相互会社	17,842	2.03
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	15,378	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	12,986	1.48

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式49,596千株(5.66%)がありません(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株(1単元)以上保有の株主

株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から千葉県の特産品等または当行及びちばざんグループの金融商品・サービスの優待*が受けられる株主優待クーポンのいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等 3,000円相当または 株主優待クーポン2枚	千葉県の特産品等 6,000円相当または 株主優待クーポン2枚

- *金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。
 1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
 2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)
 3. 遺言信託引受予約手数料20%割引
 4. ちばざん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
 5. ちばざん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

■ 中間連結貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	平成26年9月末	平成27年9月末	科 目	平成26年9月末	平成27年9月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	688,413	1,582,711	預金	10,156,442	10,656,577
コールローン及び買入手形	392,586	263,322	譲渡性預金	436,910	434,259
買現先勘定	24,995	24,996	コールマネー及び売渡手形	69,680	685,894
債券貸借取引支払保証金	2,068	2,098	債券貸借取引受入担保金	106,976	179,421
買入金銭債権	22,956	22,248	特定取引負債	23,042	19,326
特定取引資産	273,811	255,510	借入金	302,714	299,265
金銭の信託	44,077	39,555	外国為替	479	462
有価証券	2,218,279	2,412,418	社債	40,000	111,901
貸出金	8,251,879	8,619,378	その他負債	125,784	112,405
外国為替	13,654	3,267	退職給付に係る負債	19,807	19,901
その他資産	90,555	108,537	役員退職慰労引当金	157	137
有形固定資産	102,840	102,664	睡眠預金払戻損失引当金	1,717	1,678
無形固定資産	11,377	11,085	ポイント引当金	457	433
退職給付に係る資産	729	7,935	特別法上の引当金	27	27
繰延税金資産	6,837	6,065	繰延税金負債	9,816	24,995
支払承諾見返	71,225	89,480	再評価に係る繰延税金負債	13,157	11,742
貸倒引当金	△ 47,192	△ 41,432	支払承諾	71,225	89,480
			負債の部合計	11,378,397	12,647,910
			(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			利益剰余金	463,355	507,655
			自己株式	△ 27,495	△ 33,853
			株主資本合計	703,063	741,005
			その他有価証券評価差額金	76,408	103,847
			繰延ヘッジ損益	△ 16	675
			土地再評価差額金	9,834	10,663
			退職給付に係る調整累計額	1,046	5,307
			その他の包括利益累計額合計	87,273	120,494
			新株予約権	364	433
			純資産の部合計	790,701	861,933
資産の部合計	12,169,098	13,509,843	負債及び純資産の部合計	12,169,098	13,509,843

■ 中間連結損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで)	(平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで)
	平成26年9月期	平成27年9月期
経常収益	114,947	118,060
資金運用収益	68,671	69,817
（うち貸出金利息）	56,089	54,448
（うち有価証券利息配当金）	11,493	13,747
信託報酬	0	1
役務取引等収益	23,552	24,396
特定取引収益	2,005	1,784
その他業務収益	2,454	1,480
その他経常収益	18,261	20,579
経常費用	70,077	69,385
資金調達費用	5,527	7,463
（うち預金利息）	2,322	2,611
役務取引等費用	8,227	8,707
その他業務費用	187	399
営業経費	44,978	42,847
その他経常費用	11,156	9,967
経常利益	44,869	48,674
特別利益	5,128	-
固定資産処分益	0	-
負ののれん発生益	5,127	-
特別損失	230	142
固定資産処分損	230	142
税金等調整前中間純利益	49,767	48,532
法人税、住民税及び事業税	14,064	13,477
法人税等調整額	735	2,360
法人税等合計	14,800	15,838
中間純利益	34,966	32,693
親会社株主に帰属する中間純利益	34,966	32,693



中間単体財務諸表(要約版)

■ 中間貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

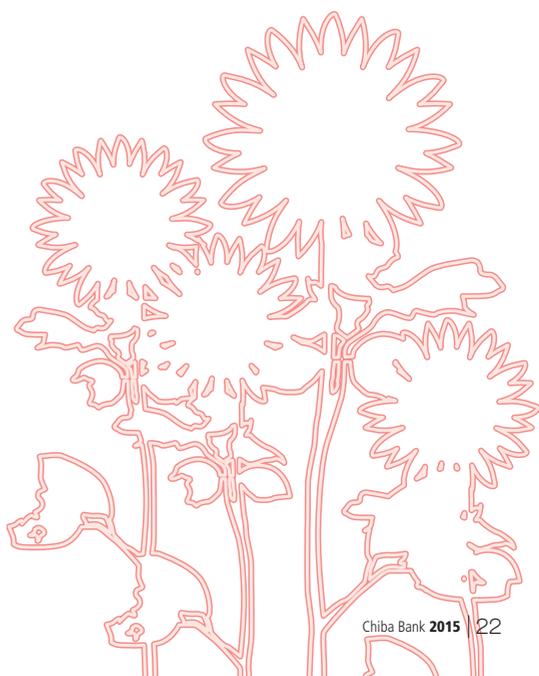
科 目	平成26年9月末	平成27年9月末
(資産の部)		
現金預け金	685,178	1,578,682
コールローン	392,586	263,322
買現先勘定	24,995	24,996
債券貸借取引支払保証金	2,068	2,098
買入金銭債権	13,656	12,824
特定取引資産	272,223	255,365
金銭の信託	38,777	34,555
有価証券	2,214,823	2,404,824
貸出金	8,275,299	8,643,064
外国為替	13,654	3,267
その他資産	40,854	56,442
その他の資産	40,854	56,442
有形固定資産	97,656	97,429
無形固定資産	11,226	10,961
前払年金費用	64	527
支払承諾見返	53,962	74,531
貸倒引当金	△ 36,933	△ 31,014
資産の部合計	12,100,095	13,431,878

科 目	平成26年9月末	平成27年9月末
(負債の部)		
預金	10,166,057	10,669,589
譲渡性預金	473,010	471,359
コールマネー	69,680	685,894
債券貸借取引受入担保金	106,976	179,421
特定取引負債	23,042	19,326
借入金	301,806	298,158
外国為替	479	462
社債	40,000	111,901
その他負債	79,216	63,684
未払法人税等	11,634	11,044
資産除去債務	221	218
その他の負債	67,360	52,420
退職給付引当金	20,168	19,701
睡眠預金払戻損失引当金	1,717	1,678
ポイント引当金	194	218
繰延税金負債	7,329	19,929
再評価に係る繰延税金負債	13,157	11,742
支払承諾	53,962	74,531
負債の部合計	11,356,800	12,627,599
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
資本準備金	122,134	122,134
利益剰余金	421,707	462,528
利益準備金	50,930	50,930
その他利益剰余金	370,777	411,598
固定資産圧縮積立金	33	35
別途積立金	335,971	370,971
繰越利益剰余金	34,772	40,591
自己株式	△ 27,495	△ 33,853
株主資本合計	661,415	695,877
その他有価証券評価差額金	71,697	96,627
繰延ヘッジ損益	△ 16	675
土地再評価差額金	9,834	10,663
評価・換算差額等合計	81,515	107,967
新株予約権	364	433
純資産の部合計	743,295	804,278
負債及び純資産の部合計	12,100,095	13,431,878

■ 中間損益計算書(要約版) (単位:百万円)

(平成26年4月1日から
平成26年9月30日まで) (平成27年4月1日から
平成27年9月30日まで)

科 目	平成26年9月期	平成27年9月期
経常収益	101,768	107,752
資金運用収益	70,255	72,169
（うち貸出金利息）	55,934	54,336
（うち有価証券利息配当金）	13,325	16,306
信託報酬	0	1
役務取引等収益	18,780	19,508
特定取引収益	1,315	1,050
その他業務収益	2,435	1,477
その他経常収益	8,981	13,543
経常費用	61,653	61,012
資金調達費用	5,520	7,451
（うち預金利息）	2,322	2,612
役務取引等費用	9,372	9,915
その他業務費用	187	399
営業経費	42,209	40,076
その他経常費用	4,363	3,169
経常利益	40,114	46,739
特別利益	0	-
特別損失	229	141
税引前中間純利益	39,886	46,597
法人税、住民税及び事業税	12,263	11,883
法人税等調整額	803	2,420
法人税等合計	13,066	14,303
中間純利益	26,819	32,293





コンサルティングプラザ、ローンプラザ

コンサルティングプラザ	4か所(千葉・柏・船橋・市川)
ローンプラザ	3か所(千葉中央・柏・船橋)

店舗数

県内	160店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所14店舗、仮想店舗3店舗)
県外	19店舗(東京都12店舗、大阪府1店舗、埼玉県3店舗、茨城県3店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	3か所(上海、シンガポール、バンコク)
両替出張所	3か所

自店舗外現金自動設備	270か所(うち、県内268か所)
コンビニATM[E-net]	13,236か所(うち、県内685か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	20,050か所(うち、県内1,139か所)
ローソンとの提携によるATM	10,957か所(うち、県内405か所)

平成27年9月30日現在

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2
 TEL.043-245-1111(代表)
<http://www.chibabank.co.jp/>
 平成27年12月発行

